

釜石・大槌定住自立圏共生ビジョン



釜石市イメージキャラクター
「かまリン」



大槌町キャラクターマーク
「おおちゃん」

岩手県釜石市

目次

1 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

- (1) 定住自立圏構想の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (2) これまでの取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (3) 定住自立圏の名称及び構成市町・・・・・・・・・・1
- (4) 定住自立圏共生ビジョンの目的・・・・・・・・・・1
- (5) 定住自立圏共生ビジョンの期間・・・・・・・・・・1

2 圏域の概況

- (1) 圏域市町の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- (2) 人口の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- (3) 都市機能の集積状況・・・・・・・・・・・・・・・・4

3 圏域の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

4 具体的取組

- (1) 体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- (2) 生活機能の強化・・・・・・・・・・・・・・・・11
- (3) 結びつきやネットワークの強化・・・・・・・・23
- (4) 圏域マネジメント能力の強化・・・・・・・・25

資料編

- (1) 釜石・大槌定住自立圏共生ビジョンの策定経過・・・・・・・・26
- (2) 釜石・大槌定住自立圏地域連携懇談会設置要綱・・・・・・・・27
- (3) 釜石・大槌定住自立圏地域連携懇談会委員名簿・・・・・・・・28
- (4) 釜石・大槌定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱・・・・・・・・29
- (5) 釜石・大槌定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿・・・・・・・・30

1 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

(1) 定住自立圏構想の概要

我が国の総人口は、今後、急速に減少することが見込まれています。このような状況を踏まえて、地方圏において安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出することが求められています。

定住自立圏構想は、中心市と近隣市町村が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保し、地方圏における定住の受け皿を形成しようとするもので、圏域全体の活性化を図ることを目的とした人口定住を促進するための中長期的視点に立った広域連携の取り組みです。

(2) これまでの取組

釜石市と大槌町は平成 21 年から連携の必要性について釜石市・大槌町地域連携懇談会において確認し、定住自立圏構想についても協議を継続してきました。平成 22 年度には両市町とも過疎地域に指定され定住促進が喫緊の共通課題となり定住自立圏構想の推進に向けて取り組むことにしましたが、東日本大震災により検討が一時的に留保されてきました。

その後、平成 27 年から首長、事務レベルでの協議を経て、平成 29 年 6 月 14 日に首長同士により定住自立圏構想の推進が確認され、具体的な協議が進展し、平成 30 年 2 月 26 日、圏域における中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行いました。

平成 30 年 3 月定例会において、釜石市及び大槌町は定住自立圏形成協定の締結について議会へ提案し、議決を経て平成 30 年 3 月 20 日に釜石市と大槌町の間で協定を締結し、定住自立圏を形成するに至っています。

(3) 定住自立圏の名称及び構成市町

① 定住自立圏の名称

釜石・大槌定住自立圏

② 定住自立圏の構成市町

釜石市、大槌町

(4) 定住自立圏共生ビジョンの目的

本共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成 20 年 12 月 26 日総行応第 39 号総務事務次官通知）第 6 の規定により、定住自立圏の将来像やその実現に向けて推進する具体的な取組内容を明らかにするものです。

(5) 定住自立圏共生ビジョンの期間

本共生ビジョンの期間は、2018（平成 30）年度から 2022（平成 34）年までの 5 年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。

2 圏域の概況

(1) 圏域市町の概況

本圏域は、釜石市及び大槌町で構成され、岩手県の東南部、太平洋を望み三陸復興国立公園の中心に位置し、親潮と黒潮がぶつかる三陸漁場と出入りの複雑な海岸線のリアス海岸を有する地域です。

圏域の面積は約 640 km²で、北上山地の支脈に沿って流れる河川沿いの狭隘な平坦地に集落が形成されており、圏域の大部分が山林原野で占められています。

① 釜石市 人口 34,240 人、世帯数 16,662、面積 440.34 km²（平成 30 年 3 月末日現在）

釜石市は、1857（安政 4）年、盛岡藩士の大島高任が我が国初の洋式高炉による連続出銚を成功しこれを記念して 12 月 1 日が「鉄の記念日」に定められるなど、近代製鉄発祥の地として知られています。

東北横断自動車道釜石秋田線及び三陸縦貫自動車道の整備により結節点となる釜石市は重要港湾釜石港を有し、平成 29 年に整備されたガントリークレーンにより物流の利便性が飛躍的に向上しました。

東日本大震災では未曾有の被害を受けましたが、中心市街地に大型ショッピングセンターが開店したほか、市民ホールや情報交流センターなど賑わいの拠点が整備され、2019 年にはラグビーワールドカップ 2019TMが釜石市を試合会場の一つとして開催されます。

また、地域の人材を育成するため、東日本大震災後には岩手大学釜石キャンパスが整備されました。

現在は「三陸の大地に光輝き希望と笑顔があふれるまち釜石」の実現に向けて復興に取り組んでいるほか、平成 27 年度に策定した釜石市オープンシティ戦略（釜石市総合戦略）により、「オープンシティ釜石～市民一人ひとりが役割を持つ、もっとも開かれたまち～」を掲げて、「活動人口」及び「つながり人口」の増加による地域の活力を創出する取り組みを行っています。

② 大槌町 人口 12,007 人、世帯数 5,410、面積 200.42 km²（平成 30 年 3 月末日現在）

大槌町は、藩政時代（1632 年～1869 年）に南部藩代官所が置かれ、現宮古市南部から釜石市までの大半を管轄していました。代官所が置かれる前のおよそ 280 年もの間は、大槌氏が江戸へ新巻鮭を出荷したことから、南部鼻曲り鮭の名声を得たとされています。

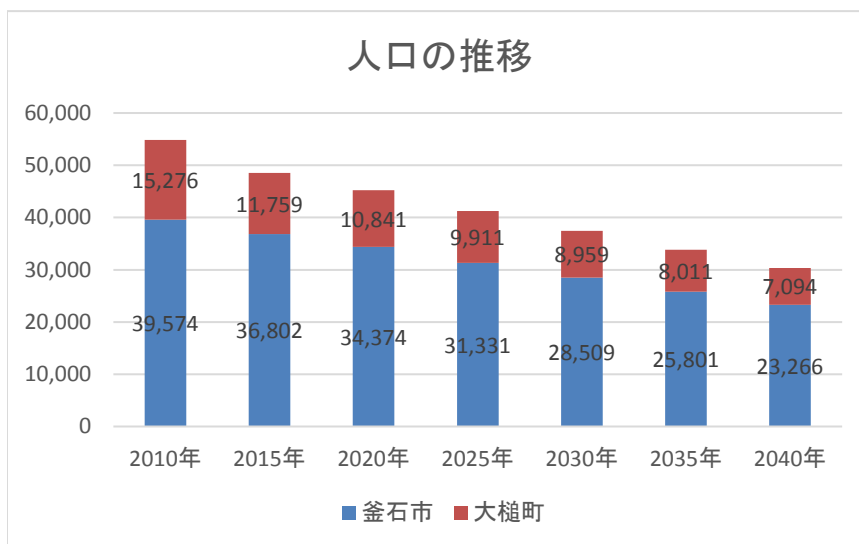
大槌町の西部は、動植物が豊かな北上山地が連なり、その山々を源に大槌湾へと注ぐ大槌川と小鎚川は毎年秋に鮭の遡上が見られるほか、海産物が豊かな大槌湾を形成しています。また、低地部は湧水が豊富で希少種である淡水型イトヨが生息するなど、固有の生態系を支えています。

大槌湾には、NHKで放送された人形劇「ひょっこりひょうたん島」のモデルとされる蓬莱島が浮かんでいて、大槌町のシンボルになっています。東日本大震災津波により甚大な被害を受けましたが、その蓬莱島をモチーフにした大槌駅や、大槌町産の木材を活用した大槌町文化交流センターなど賑わいの拠点も整備されます。また、三陸縦貫自動車道の整備や三陸鉄道の開通により、釜石市を含む三陸沿岸地域との物流の活性化が期待されています。

平成 28 年 3 月に大槌町地方創生総合戦略を策定し、定住人口の減少に歯止めをかけるとともに交流人口の増大を図ることで活動人口を増やし、継続的に活力のあるまちを目指しています。

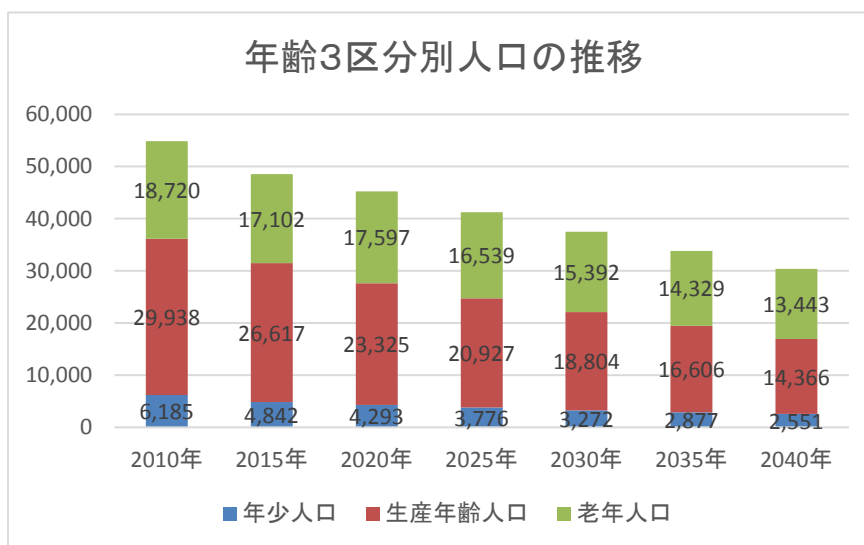
(2) 人口の推移

平成 30 年 3 月 31 日時点の釜石大槌圏域の総人口は 46,247 人で、直近の平成 27 年国勢調査人口 48,561 人と比較して 4.8% (2,314 人) 減少しています。また、国立社会保障・人口問題研究所が発表した「日本の地域別将来推計人口 (平成 30 (2018) 年推計)」によれば、25 年間 (平成 27～平成 52 年) (2015～2040 年) の間に 18,201 人が減少すると見込まれています。



出典：2010 年・2015 年は国勢調査、2020 年以降は国立社会保障・人口問題研究所 (平成 30 年 3 月公表) データ

釜石大槌圏域の年齢 3 区分別人口構成比は、平成 22 年度以降、年少人口 (0～14 歳) 及び生産年齢人口 (15～64 歳) が一貫して減少しているのに対し、老年人口 (65 歳～) は増加を続け、平成 27 年国勢調査人口では、年少人口 10.0% (4,842 人)、生産年齢人口 54.8% (26,617 人)、老年人口 35.2% (17,102 人) となっています。平成 52 年の推計では、年少人口 8.4% (2,551 人)、生産年齢人口 47.3% (14,366 人)、老年人口 44.3% (13,443 人) と見込まれ、少子高齢化が進展することが予想されています。



出典：2010 年・2015 年は国勢調査、2020 年以降は国立社会保障・人口問題研究所 (平成 30 年 3 月公表) データ

(3) 都市機能の集積状況

分野	都市機能	主な施設
医療	公的医療機関	岩手県立釜石病院
	初期救急医療	在宅当番医（市と釜石医師会との間で「在宅当番医制事業」を委託契約により実施）
	二次救急医療	岩手県立釜石病院、せいてつ記念病院（輪番制で実施）
	市内医療機関	病院 5、一般診療所 14（釜石のぞみ病院、せいてつ記念病院、独立行政法人国立病院機構釜石病院、岩手県立釜石病院、釜石厚生病院、医療法人周凜会久喜神経内科歯科クリニック、加賀谷消化器科内科医院、小笠原内科クリニック、釜石しょうけいクリニック、釜石整形外科クリニック、釜石ファミリークリニック、神林医院、小泉医院、はまと神経内科クリニック、平野内科医院、藤井クリニック、堀耳鼻咽喉科眼科医院、庄子医院、平田診療所） 歯科診療所 15（おいかわ歯科医院、かまいし駅前歯科医院、久喜神経内科歯科クリニック、ささき歯科医院、鈴木歯科医院、平松歯科医院、三浦歯科クリニック、遠舛歯科医院、かつし歯科医院、瓦田歯科医院分院、工藤歯科クリニック、歯科福成医院、早崎歯科医院、藤井デンタルクリニック、やえがし歯科医院）
福祉	高齢者福祉施設	指定介護予防支援事業所 1（釜石市地域包括支援センター） 通所介護（デイサービス ※地域密着型含む）施設 14（仙人の里指定通所介護事業所、あいぜんの里デイサービスセンター、五葉寮いきいきデイサービスセンター、ニチケアセンター釜石、アミーガはまゆりデイサービスセンター、ございしょの里デイサービスセンター、やまざき機能訓練デイサービスホーム、ニチケアセンター釜石大町、いきいき唐丹デイサービスセンター、デイサービスセンターさくら、ジャパンケア釜石平田、リハビリデイサービス sqoo 釜石、デイサービスセンター善、ふれあい機能訓練デイサービス） 認知症対応型通所介護施設 1（デイサービスやかた） 小規模多機能型居宅介護施設 3（あお空小規模多機能センター釜石、スマートホーム・パティオ、小規模多機能ホームやかた）

	<p>認知症対応型共同生活介護（グループホーム）施設 8（グループホームハイムはまゆり、グループホームございしよの里、あお空グループホーム釜石、スマートホーム・パティオ、グループホームやかた、グループホームさわこ、グループホームさくら、グループホーム・ファミリア）</p> <p>地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特別養護老人ホーム）施設 2（ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里、地域密着型介護老人福祉施設三峯の杜）</p> <p>介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）3（特別養護老人ホームアミーガはまゆり、特別養護老人ホーム仙人の里、特別養護老人ホームあいぜんの里）</p> <p>介護老人保健施設（老人保健施設）2（老人保健施設はまゆりケアセンター、老人保健施設フレールはまゆり）</p> <p>有料老人ホーム3（ケアホームなでしこ、カサ・デ・ファミリア、住宅型有料老人ホームハピネスさくら）</p> <p>養護老人ホーム1（養護老人ホーム五葉寮）</p> <p>老人福祉センター1（滝の家）</p> <p>生活支援ハウス1（特別養護老人ホームアミーガはまゆり生活支援ハウス）</p> <p>在宅介護支援センター7（仙人の里在宅介護支援センター、はまゆり在宅介護支援センター、あいぜんの里在宅介護支援センター、東釜石地区在宅介護支援センター、鶴住居地区在宅介護支援センター、唐丹地区在宅介護支援センター、ニチイケアセンター釜石在宅介護支援センター）</p>
障がい者福祉施設	<p>障がい者就労支援施設 4（釜石市福祉作業所、かまいしワーク・ステーション、つくし共同作業所、まごころ就労支援センター釜石）</p> <p>障がい者入所支援施設 1（自立支援施設大松）</p> <p>グループホーム 4（くろーばー、くろーばーセカンド、かみくり荘、メゾン ラ・ポール）</p> <p>地域活動支援センター3（地域活動支援センター釜石、地域活動支援センターふるはーと、地域活動支援センターまりん）</p> <p>生活介護事業所 2（自立支援施設大松、地域活動支援センターまりん）</p> <p>療養介護事業所 1（独立行政法人国立病院機構釜石病院）</p>

		<p>身体障害者福祉センター1（釜石市身体障害者福祉センター）</p> <p>短期入所施設 2（自立支援施設大松、独立行政法人国立病院機構釜石病院）</p> <p>日中一時支援事業所 5（自立支援施設大松、独立行政法人国立病院機構釜石病院、地域活動支援センターふるはーと、地域活動支援センターまりん、地域活動支援センター釜石）</p>
	児童福祉施設等	<p>保育所 7（中妻子供の家保育園、釜石神愛幼児学園、小佐野保育園、鶴住居保育園、ぴっころきっず平田、ピッコロ子ども倶楽部桜木園、市立上中島保育所）</p> <p>認定こども園 2（かまいしこども園、甲東こども園）</p> <p>へき地保育所 2（市立橋野へき地保育所（休止中）、市立尾崎白浜へき地保育所（休止中））</p> <p>放課後児童クラブ 11（白山学童育成クラブ、平田学童育成クラブ、釜石学童育成クラブ、甲子学童育成クラブ、鶴住居学童育成クラブ、上中島学童育成クラブ、双葉学童育成クラブ、小佐野学童育成クラブ、小佐野第二学童育成クラブ、唐丹学童育成クラブ、栗林学童育成クラブ）</p> <p>児童館 5（鶴住居児童館、唐丹児童館、栗林児童館、上中島児童館、箱崎児童館（休止中））</p> <p>認可外保育施設 1（子育て応援団きらきら☆）</p> <p>事業所内保育施設 3（国立釜石病院のぞみ保育園、県立釜石病院つくし保育所、ルートイン釜石託児所）</p> <p>子育て支援センター4（甲子子育て支援センター、中妻子供の家子育て支援センター、かまいしこども園子育て支援センター、鶴住居保育園子育て支援センター）</p> <p>児童発達支援施設 1（釜石市すくすく親子教室）</p> <p>放課後等デイサービス施設 1（釜石市すくすく親子教室）</p>
教育	大学	国立大学 1（国立大学法人岩手大学釜石キャンパス）
	高等学校	県立学校 2（岩手県立釜石高校、岩手県立釜石商工高校）
	特別支援学校	県立学校 1（岩手県立釜石祥雲支援学校）
文化	文化施設	釜石市立図書館、釜石市郷土資料館、釜石市立五葉山麓郷土芸能伝承館、釜石市立海の芸能伝承館、釜石市大石地域交流センター、釜石市民ホール、釜石

		情報交流センター、釜石市中村郷土芸能どんがた館、旧釜石鉱山事務所
	公民館	7 公民館、7 分館（釜石公民館、中妻公民館、甲子公民館・砂子渡分館、小佐野公民館・向定内分館・野田団地分館、鶴住居公民館・川目分館・仮宿分館、栗橋公民館・中村分館・横内分館、唐丹公民館）
スポーツ	スポーツ施設	釜石市営プール、釜石市民交流センター、釜石市営唐丹グラウンド、昭和園クラブハウス、釜石市球技場、平田公園野球場、平田公園クラブハウス、釜石市民弓道場、釜石市民相撲場、多目的広場（桜木町）、釜石市中妻体育館
観光	観光施設	釜石大観音、釜石物産センター、橋野どんぐり広場、鉄の歴史館、橋野鉄鉱山インフォメーションセンター
産業	誘致企業	16 企業（㈱プラシーズ、SMC ㈱、釜石飼料㈱、㈱エヌエスオカムラ、同和鍛造㈱、㈱大和化成研究所、㈱グランバー、㈱ガルバート・ジャパン、ムゲンシステム㈱、双葉精密㈱、㈱バイオ・パワー・ジャパン、双日食料水産㈱、釜石ヒカリフーズ㈱、エア・ウォーター物流㈱、福山通運㈱、㈱麻生）
	認定職業訓練校	職業訓練法人釜石職業訓練協会釜石高等職業訓練校
	産業支援機関	（公財）釜石・大槌地域産業育成センター
商業	大規模商業施設	イオンタウン釜石
	金融機関	岩手銀行釜石支店・はまゆり支店・中妻支店 北日本銀行釜石支店・小佐野支店・鶴住居支店 東北銀行釜石支店 宮古信用金庫大渡支店 東北労働金庫釜石支店 JAいわて花巻釜石支店・鶴住居支店 岩手信漁連釜石大槌支店 鶴住居郵便局・嬉石簡易郵便局・尾崎白浜簡易郵便局・片岸簡易郵便局（休止中）・釜石大橋郵便局・釜石小川郵便局・釜石鈴子郵便局・釜石中妻郵便局・釜石野田簡易郵便局・釜石浜町郵便局（休止中）・釜石平田郵便局・釜石松原郵便局（休止中）・釜石郵便局・栗橋郵便局・栗林簡易郵便局・小佐野郵便局・新川原簡易郵便局・唐丹郵便局・洞泉郵便局・箱崎

		簡易郵便局・松倉郵便局
交通	高規格幹線道路	東北横断自動車道釜石秋田線（仙人峠道路） 三陸沿岸道路（釜石山田道路釜石両石 I C～釜石北 I C）
	鉄道駅	J R 釜石線 5 駅（釜石駅・小佐野駅・松倉駅・洞泉駅・陸中大橋駅） J R 山田線 2 駅（両石駅・鶴住居駅）（平成 31 年 4 月から三陸鉄道へ移管予定） 三陸鉄道南リアス線 3 駅（釜石駅・平田駅・唐丹駅）
	高速バス・長距離路線	遠野釜石号（大槌・釜石・遠野⇄上野・池袋） けせんライナー（釜石・大船渡・高田・気仙沼⇄池袋） 釜石仙台線（釜石・遠野⇄仙台） 釜石盛岡線（大槌・釜石・遠野・大迫・盛岡）
	国道	国道 45 号、国道 283 号
	道の駅	釜石仙人峠（国道 283 号）
行政	国の出先機関等	釜石税務署、釜石区検察庁、釜石海上保安部、釜石港湾事務所、大船渡税関支署釜石出張所、三陸国道事務所釜石維持出張所、南三陸国道事務所、釜石労働基準監督署、三陸中部森林管理署釜石森林事務所、釜石公共職業安定所
	県の出先機関等	岩手県沿岸広域振興局、釜石警察署
広域行政	消防	釜石大槌地区行政事務組合（消防本部、釜石消防署）
	し尿処理	釜石大槌地区行政事務組合（釜石・大槌汚泥再生処理センター）
	ごみ処理	岩手沿岸南部広域環境組合（岩手沿岸南部クリーンセンター）
その他	火葬場	釜石斎場

3 圏域の将来像

釜石市と大槌町は、岩手県の出先機関の管轄を一とする地域として、また、通勤、通学、通院、買い物など共通の生活圏域としてお互いに連携して地域づくりに励んできました。

し尿処理、消防、ごみ処理については一部事務組合により 2 市町又は他の市町村を加えた 3 市 2 町で効率的に共同運営され、住民へ行政サービスを提供しています。

我が国では少子高齢化、人口減少が急速に進展し、急激な人口減少が及ぼす影響は範囲が広く地域の存続そのものに関わる課題を引き起こしています。

一方、整備が着々と進められている三陸縦貫自動車道や東北横断自動車道釜石秋田線により、人や物の移動は従来の経済圏、生活圏を越えて広域化し、また、ICT の発展により効率的な情報発信が広範囲にわたって行われるようになっていきます。

こうした背景に加えて、誰もが安心して暮らせる住みよいまちに対する住民からの期待が高まっていることや、質が高く多様な行政ニーズが求められていることから、従来の行政の枠にとらわれることのない行政サービスの提供が必要となっています。

釜石市及び大槌町はそれぞれ地域創生に向けた総合戦略を策定し、人口の定住促進等に取り組んでいることから、今後はさらに釜石・大槌定住自立圏を形成し、広域圏として定住のための施策を連携しながら展開し、人口減少が圏域として緩和されるように、中長期的な視野で取り組んでいくものです。

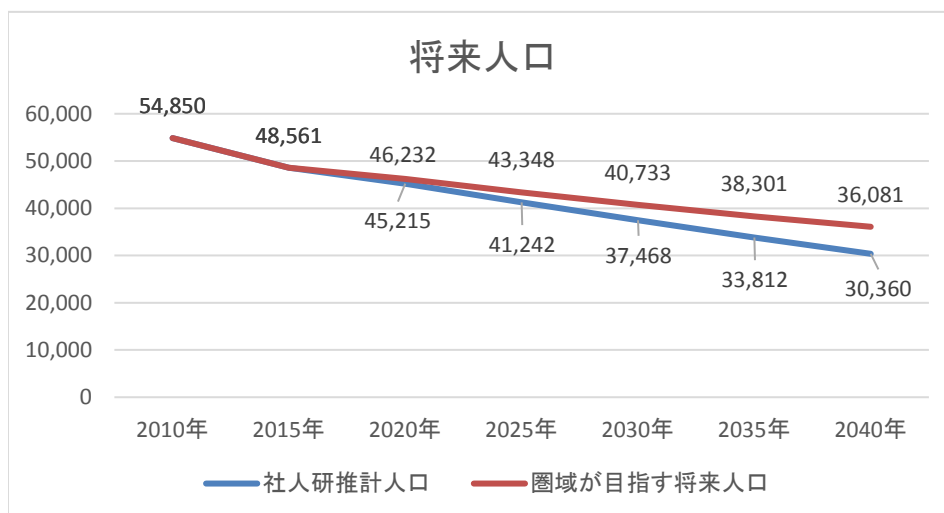
【圏域が目指す将来人口】

(単位：人)

	2010年 H22年	2015年 H27年	2020年 H32年	2025年 H37年	2030年 H42年	2035年 H47年	2040年 H52年
社人研推計人口	54,850	48,561	45,215	41,242	37,468	33,812	30,360
圏域が目指す将来人口	54,850	48,561	46,232	43,348	40,733	38,301	36,081

出典：(上段) 2010年・2015年は国勢調査、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所(平成30年3月公表)データ

(下段) 2010年・2015年は国勢調査、2020年以降は釜石市オープンシティ戦略・大槌町地方創生総合戦略データ



4 具体的取組

体系図

生活機能の強化	医療	地域医療体制の充実	救急医療対策事業	
			医療情報ネットワークの推進	
	福祉	総合的な子育て支援	病後児保育利用事業	
			総合的な障がい者支援	障がい者支援事業
				障害支援区分認定審査会の共同運営
	介護認定審査会の共同運営	介護認定審査会の共同運営		
	教育	公共施設の利用促進	公共施設の相互利用	
	産業振興	中小企業の育成等による産業振興	産学官連携による産業の活性化	
		観光の促進	観光促進事業	
	防災	防災訓練等による安全・安心の確保	広域合同防災訓練等の実施	
ラグビーワールドカップ開催に向けた国民保護訓練の実施				
その他	消費生活センターの共同利用	消費生活センターの共同利用		
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	鉄道運営支援	鉄道を活かした利便性向上事業	
	地域内外の住民との交流・移住促進	移住・定住の促進	婚活支援事業	
圏域マネジメント能力の強化	人材育成	職員の人材育成	合同職員研修の実施	

(1) 生活機能の強化

I 医療

【協定の内容】

①地域医療体制の充実

取組の内容	圏域住民が安心して医療サービスを受けることができるよう、圏域の医療機関等の連携を強化しながら、地域医療体制の充実に取り組む。
釜石市の役割	休日夜間の救急医療体制の維持のため、関係機関等との調整及び支援を行うとともに、圏域の医療機関等に対し必要な支援を行うほか、切れ目のない医療・介護の提供体制の構築を推進するかまいし・おおつち医療情報ネットワークの運用に対し、必要な協力及び支援を行う。
大槌町の役割	休日夜間の救急医療体制の維持への協力及びかまいし・おおつち医療情報ネットワークの運用に対し、必要な協力及び支援を行う。

【具体的な取組】

施策名	救急医療対策事業					関係市町
内容	圏域の救急医療体制を確保するため、釜石医師会、釜石歯科医師会及び関係医療機関と連携し、初期救急医療の維持に努めるとともに、二次救急医療の実施を支援する。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H34)		
評価指標 (KPI)	休日・夜間救急診療体制対応日数		365 日	365 日		
期待される効果	休日及び夜間の医療提供体制を確保することで、圏域住民が安心して暮らしていくための医療サービスを提供することができる。					
実施スケジュール		H 3 0 (2018)	H 3 1 (2019)	H 3 2 (2020)	H 3 3 (2021)	H 3 4 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み (千円)		19,476	19,476	19,476	19,476	19,476
大槌町事業費見込み (千円)		5,906	5,906	5,906	5,906	5,906
合計事業費見込み (千円)		25,382	25,382	25,382	25,382	25,382
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	圏域の医療体制の充実に資するため、釜石医師会、釜石歯科医師会及び関係医療機関が休日並びに夜間における医療提供体制を確保するもので、釜石市と大槌町はその費用を負担する。					
釜石市予算事業名	病院群輪番制病院運営事業 在宅当番・救急医療情報提供実施事業 休日歯科当番医制事業					
大槌町予算事業名	釜石市病院群輪番制病院運営事業 在宅当番・救急医療情報提供実施事業 (休日歯科当番医制事業を含む)					

【具体的な取組】

施策名	医療情報ネットワークの推進					関係市町
内容	圏域の医療関係機関等で患者・利用者の情報を共有することにより、効率の良い医療、及び切れ目のない医療・介護の提供体制の構築を推進するかまいし・おおつち医療情報ネットワークを活用し、圏域の医療連携及び医療介護連携を推進する。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標			現状値 (H29)	目標値 (H34)	
評価指標 (KPI)	キーコード (利用者個人番号) 発行件数累計			4,097 件	10,000 件	
期待される効果	圏域の医療連携を推進することで、質の高い地域医療を確保する。					
実施スケジュール		H 3 0 (2018)	H 3 1 (2019)	H 3 2 (2020)	H 3 3 (2021)	H 3 4 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み (千円)		3,420	3,420	3,420	3,420	3,420
大槌町事業費見込み (千円)		1,075	1,075	1,075	1,075	1,075
合計事業費見込み (千円)		4,495	4,495	4,495	4,495	4,495
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	効率の良い医療の提供体制、及び切れ目のない医療・介護の提供体制の構築を推進するため、特定非営利活動法人釜石・大槌地域医療連携推進協議会がシステムを運営し、関係医療機関や介護サービス事業所及び行政が加入して参加負担金を負担するほか、釜石市と大槌町が運営費の一部を補助する。					
釜石市予算事業名	かまいしおおつち医療情報ネットワーク負担金 NPO法人釜石・大槌地域医療連携推進協議会運営費補助金					
大槌町予算事業名	かまいしおおつち医療情報ネットワーク負担金事業 NPO法人釜石・大槌地域医療連携推進協議会運営費補助金事業					

II 福祉

【協定の内容】

①総合的な子育て支援

取組の内容	次代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援するため、病後児に係る環境整備のための施策など、子ども・子育て支援に取り組む。
釜石市の役割	病後児保育のサービスを提供することで圏域における保育環境の充実を図る。
大槌町の役割	釜石市に立地する病後児保育のサービスを利用することで保育環境の充実を図る。

【具体的な取組】

施策名	病後児保育利用事業					関係市町
内容	釜石市に所在する病後児保育施設の利用促進を図る。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H34)		
評価指標 (KPI)	病後児保育施設の延べ利用児童数		10 人	90 人		
期待される効果	病気の回復期にある概ね1歳から小学3年生までの児童を預かることで、子育て世代の負担の軽減をし、安心して子どもを産み育てる環境づくりが図られる。					
実施スケジュール		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み(千円)		4,264	4,264	4,264	4,264	4,264
大槌町事業費見込み(千円)		537	537	537	537	537
合計事業費見込み(千円)		4,801	4,801	4,801	4,801	4,801
国の支援策	子ども・子育て支援交付金					
役割分担の考え方	釜石市に所在する病後児保育施設に釜石市が病後児保育を委託して実施し、圏域の住民が利用するものであり、子育て支援のため、両市町がそれぞれ必要な費用を負担する。					
釜石市予算事業名	病後児保育事業					
大槌町予算事業名	病児保育事業(病児保育事業負担金)					

【協定の内容】

②総合的な障がい者支援

取組の内容	障がい者の福祉に関する適切な支援体制を作り上げるために活動している地域自立支援協議会の運営を支援するほか、障がい者の地域生活支援を図るため、創作的活動、生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等に取り組む地域活動支援センター事業を共同で実施する。また、障害支援区分認定審査会を共同で運営する。
釜石市の役割	障がい者が地域で安心して生活できるように、障がい福祉サービスにおける圏域単位の総合調整や具体的な地域課題への取組等を行い、各種支援体制を整備する。
大槌町の役割	障がい福祉サービスにおける総合調整や具体的な地域課題への取組等を行い、各種支援体制を整備する。

【具体的な取組】

施策名	障がい者支援事業					関係市町
内容	障がい者が地域で安心して生活できるように、人材のスキルアップやネットワーク構築など、支援体制の構築に積極的に取り組む釜石大槌地域障がい者自立支援協議会の運営を支援するほか、専門的な職員（精神保健福祉士）を配置した地域活動支援センターの運営を支援することで障がいのある人の自立と福祉の向上を目指す。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H34)		
評価指標 (KPI)	協議会部会活動回数		40回	48回		
期待される効果	障がい者が自立した社会生活を営むためのより安定した福祉サービスの提供が図られる。					
実施スケジュール		H 3 0 (2018)	H 3 1 (2019)	H 3 2 (2020)	H 3 3 (2021)	H 3 4 (2022)
	事業の実施	→				
釜石市事業費見込み (千円)		8,700	8,400	8,700	8,400	8,700
大槌町事業費見込み (千円)		3,600	3,900	3,600	3,900	3,600
合計事業費見込み (千円)		12,300	12,300	12,300	12,300	12,300
国の支援策	地域生活支援事業補助 (障がい者地域活動支援センター I 型事業)					
役割分担の考え方	釜石市と大槌町が共同設置した地域障がい者自立支援協議会と、釜石市及び大槌町がそれぞれ指定した地域活動支援センターの運営に関し、両市町が必要な費用を負担する。					
釜石市予算事業名	釜石大槌地区自立支援協議会事業 障がい者地域活動支援センター I 型事業					
大槌町予算事業名	釜石大槌地域障がい者自立支援協議会負担金事業 障がい者地域活動支援センター I 型事業					

【具体的な取組】

施策名	障害支援区分認定審査会の共同運営					関係市町
内容	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」で規定する市町村審査会を共同して設置し運営する。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H34)		
評価指標 (KPI)	認定審査会の開催数		12回	12回		
期待される効果	釜石市と大槌町が共同して審査会を開催することで、安定した認定審査を円滑に実施することができる。					
実施スケジュール		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み (千円)		1,567	1,600	1,600	1,600	1,600
大槌町事業費見込み (千円)		364	364	364	364	364
合計事業費見込み (千円)		1,931	1,964	1,964	1,964	1,964
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	釜石市と大槌町は障害支援区分認定審査会を共同して設置し、大槌町は負担金を釜石市に交付する。					
釜石市予算事業名	障がい支援区分認定事業					
大槌町予算事業名	釜石大槌地区障害支援区分認定審査会負担金事業					

【協定の内容】

③介護認定審査会の共同運営

取組の内容	釜石市及び大槌町は、介護保険法に規定する介護認定審査会を共同して設置する。
釜石市の役割	要介護状態区分及び要支援状態区分を適切に審査するために、介護認定審査会の委員を選任するとともに、大槌町と共同で円滑な運営を行う。
大槌町の役割	要介護状態区分及び要支援状態区分を適切に審査するために、釜石市と共同で介護認定審査会の円滑な運営を行う。

【具体的な取組】

施策名	介護認定審査会の共同運営					関係市町
内容	「介護保険法」で規定する介護認定審査会を共同して設置し運営する。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H34)		
評価指標 (KPI)	認定審査会の開催数		95回	99回		
期待される効果	釜石市と大槌町が共同して審査会を開催することで、安定した認定審査を円滑に実施することができる。					
実施スケジュール		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み (千円)		10,648	10,648	10,648	10,648	10,648
大槌町事業費見込み (千円)		3,870	3,900	3,900	3,900	3,900
合計事業費見込み (千円)		14,518	14,548	14,548	14,548	14,548
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	釜石市と大槌町は認定審査会を共同して設置し、大槌町は負担金を釜石市に交付する。					
釜石市予算事業名	介護認定審査会事業					
大槌町予算事業名	釜石大槌地区介護認定審査会共同設置負担金事業					

Ⅲ 教育

【協定の内容】

①公共施設の利用促進

取組の内容	圏域住民がより健康で文化的な生活を営むために、圏域にある体育施設や文化施設の利用促進を図る。
釜石市の役割	釜石市が設置する体育施設（ラグビーワールドカップの会場を含む）や文化施設に関し、圏域の住民を対象とした利用促進策を図る。
大槌町の役割	大槌町が設置する体育施設や文化施設に関し、圏域の住民を対象とした利用促進策を図る。

【具体的な取組】

施策名	公共施設の相互利用					関係市町
内容	圏域にある体育施設や文化施設の利用料を圏域住民枠に統一し、相互利用を促進し、住民の福祉の増進を図る。					釜石市 大槌町
重要業績 評価指標（KPI）	指 標	現状値（H29）		目標値（H34）		
	施設延べ利用者数	191,235人（釜石） 78,453人（大槌）		444,600人		
期待される効果	釜石・大槌地域における体育施設と文化施設を圏域の住民が広域で利用が可能になることから、圏域住民のスポーツ活動や文化活動が活発となり、住民の福祉が向上する。					
実施スケジュール		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み（千円）		80,573	126,379	163,185	163,991	164,796
大槌町事業費見込み（千円）		36,130	33,930	34,930	33,930	33,930
合計事業費見込み（千円）		116,703	160,309	198,115	197,921	198,726
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	釜石市と大槌町は、それぞれが所有する施設の利便性向上のための取組に関する負担を行う。					
釜石市予算事業名	体育施設等管理運営費					
大槌町予算事業名	体育施設費					

IV 産業振興

【協定の内容】

①中小企業の育成等による産業振興

取組の内容	産学官連携による企業の技術開発等を促進し新たな産業や事業の創造を目指すとともに、地域の中小企業の育成に取り組む。
釜石市の役割	地域企業、岩手大学等の学術機関、公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センターによる産学官連携を推進し、競争力のある産業の育成を図る。
大槌町の役割	公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センターによる産学官の連携の推進など、地域内企業連携の一層の促進を促し、競争力のある産業の育成を図る。

【具体的な取組】

施策名	産学官連携による産業の活性化					関係市町
内容	公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センターが地域企業に対して実施する「高度ものづくり産業の創出」や「海商工連携による食産業の振興」等の取組みを支援する。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H34)		
評価指標 (KPI)	商品・製品化 (事業化) 件数		5 件	5 件		
期待される効果	釜石・大槌地域における地域中小企業の経営資源の評価を行うことで、企業の課題に対する的確な支援の実施による経営基盤強化を図り、地域産業全体のレベルアップ及び地域活性化を目指す。					
実施スケジュール		H 3 0 (2018)	H 3 1 (2019)	H 3 2 (2020)	H 3 3 (2021)	H 3 4 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み (千円)		56,706	56,900	57,100	57,300	57,500
大槌町事業費見込み (千円)		3,120	3,120	3,120	3,120	3,120
合計事業費見込み (千円)		59,826	60,020	60,220	60,420	60,620
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	両市町は地域内産業の活性化のために、公益財団法人 釜石・大槌地域産業育成センターの活動を支援する。					
釜石市予算事業名	釜石・大槌地域産業育成センター事業					
大槌町予算事業名	釜石大槌地域産業育成センター中小企業育成支援事業補助金、釜石大槌地域産業育成センター運営費補助金					

【協定の内容】

②観光の促進

取組の内容	釜石市鶴住居地区で2019年に開催されるラグビーワールドカップや、2019年に開通する三陸鉄道や復興道路等を契機に圏域の観光資源を効果的にPRし観光客を誘致する。
釜石市の役割	ラグビーワールドカップを開催するとともに、大槌町と連携して鉄道や道路の開通等を契機とした観光客の誘導を図る。
大槌町の役割	ラグビーワールドカップの開催を支援するとともに、釜石市と連携して鉄道や道路の開通等を契機とした観光客の誘導を図る。

【具体的な取組】

施策名	観光促進事業					関係市町
内容	2019年に開通する三陸鉄道や復興道路等を活かした誘客事業を「ふるさと広域観光協議会」と共同して展開する。					釜石市 大槌町
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	現状値 (H28)		目標値 (H34)		
	圏域の観光入込客数	548,564人(釜石) 109,938人(大槌)		988,500人		
期待される効果	圏域を訪れる観光客が増加し、交流人口の拡大が図られる。					
実施スケジュール		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み(千円)		270	270	270	270	270
大槌町事業費見込み(千円)		170	170	170	170	170
合計事業費見込み(千円)		340	340	340	340	340
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	開通する三陸鉄道と復興道路、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の一つである橋野鉄鉱山等、両市町の観光資源を活用した誘客事業を両者が協働して実施し、必要な費用を負担する。					
釜石市予算事業名	ふるさと広域観光協議会負担金					
大槌町予算事業名	ふるさと広域観光協議会負担金					

V 防災

【協定の内容】

①防災訓練等による安全・安心の確保

取組の内容	再三にわたる津波や山林火災や風水害に見舞われ、その都度大きな被害を受けている釜石市及び大槌町において、未然防止、災害対応から再発防止に至るまで、連携した取組を実施するとともに、ラグビーワールドカップ開催を想定した訓練を合同で実施し、住民の「安全と安心」を確保する。
釜石市の役割	危機管理部門、釜石市消防団及び防災関係機関を通じて消防防災体制を整備し、圏域住民の安全・安心を確保する。
大槌町の役割	危機管理部門、大槌町消防団及び防災関係機関を通じて消防防災体制を整備し、圏域住民の安全・安心を確保する。

【具体的な取組】

施策名	広域合同防災訓練等の実施					関係市町
内容	各種災害に備えて、消防や警察や医師会などの関係機関と協働し、広域合同防災訓練等を実施することにより、効果的な減災対策を講じる。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H34)		
評価指標 (KPI)	広域合同防災訓練等の実施回数		0回	1回		
期待される効果	圏域における防災力が向上することで、住民の安全・安心の確保が図られる。					
実施スケジュール		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み (千円)				200	200	200
大槌町事業費見込み (千円)				0	0	0
合計事業費見込み (千円)				200	200	200
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	広域合同防災訓練等を実施する。					
釜石市予算事業名	合同防災訓練経費					
大槌町予算事業名	なし					

【具体的な取組】

施策名	ラグビーワールドカップ開催に向けた国民保護訓練の実施					関係市町
内容	ラグビーワールドカップ 2019 釜石会場における危機事案を想定した訓練を合同で実施し、有事の際の安全を確保する。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H31)		
評価指標 (KPI)	合同訓練実施回数		1 回	1 回		
期待される効果	ラグビーワールドカップ 2019 開催時に、圏域における住民と観光客の安全・安心の確保が図られる。					
実施スケジュール		H 3 0 (2018)	H 3 1 (2019)	H 3 2 (2020)	H 3 3 (2021)	H 3 4 (2022)
	事業の実施	—————→				
釜石市事業費見込み (千円)		0	0			
大槌町事業費見込み (千円)		0	0			
合計事業費見込み (千円)		0	0			
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	合同で国民保護訓練を実施する。					
釜石市予算事業名	なし					
大槌町予算事業名	なし					

VI その他

【協定の内容】

①消費生活センターの共同利用

取組の内容	圏域の消費者の消費生活における被害を防止し、安全を確保するため、釜石市消費生活センターを共同で運営する。
釜石市の役割	消費生活センターを設置し、大槌町からの委託により圏域住民からの消費生活相談を実施する。
大槌町の役割	釜石市へ委託することにより住民からの消費生活相談を実施する。

【具体的な取組】

施策名	消費生活センターの共同利用					関係市町
内容	圏域の住民が、借金に関する問題や買物に伴う契約などで疑問を感じた時やトラブルを抱えた時に解決を支援するため、釜石市消費生活センターを設置し、共同して利用する。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H34)		
評価指標 (KPI)	釜石市消費生活センターの相談数		253 件	235 件		
期待される効果	資格を有する消費生活相談員が複数名で対応することにより、圏域の消費者が安心して消費生活センターを利用でき、また、広域での情報収集及び消費者被害発生等の情報共有することにより、消費者被害の減少や防止が期待され、更には豊かな消費生活を営むことが期待される。					
実施スケジュール		H 3 0 (2018)	H 3 1 (2019)	H 3 2 (2020)	H 3 3 (2021)	H 3 4 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み (千円)		7,713	7,503	7,503	7,503	7,503
大槌町事業費見込み (千円)		1,920	1,885	1,885	1,885	1,885
合計事業費見込み (千円)		9,633	9,598	9,598	9,598	9,598
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	釜石市が消費生活センターを設置し、大槌町が負担金を釜石市に交付することで共同利用する。					
釜石市予算事業名	消費生活センター運営事業					
大槌町予算事業名	釜石市消費生活センター利用負担金事業					

(2) 結びつきやネットワークの強化

I 地域公共交通

【協定の内容】

①鉄道運営支援

取組の内容	東日本大震災津波により被害を受け休止したJR山田線は、JRが復旧工事を行っており、平成30年度末に三陸鉄道が運行主体となり再開する予定で、復興した街の玄関口としてふさわしいターミナル機能を備えた利便性が高く魅力ある駅を整備し、交流人口の拡大につなげる。
釜石市の役割	釜石市内の鉄道の駅を整備し鉄道利用者の増加と利便性の確保を図る。
大槌町の役割	大槌町内の鉄道の駅を整備し鉄道利用者の増加と利便性の確保を図る。

【具体的な取組】

施策名	鉄道を活かした利便性向上事業					関係市町
内容	広域交通と地域交通の結節点として、また主要な施設へアクセスする公共交通の起点として、ターミナル機能を備えた利便性の高い駅を整備することにより、利用者の増加を図る。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H34)		
評価指標 (KPI)	鉄道延べ利用者数 ※参考値 (H22 山田線釜石市内区間) 215,350 人		0 人	220,000 人		
期待される効果	鉄道利用者の増加と利便性の確保が図られる。					
実施スケジュール		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み (千円)		32,803	30,500	32,000	32,000	32,000
大槌町事業費見込み (千円)		123,300	5,800	5,800	5,800	5,800
合計事業費見込み (千円)		156,103	34,603	34,603	34,603	34,603
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	釜石市・大槌町それぞれが鉄道の駅を整備・管理するための費用を負担する。					
釜石市予算事業名	三陸鉄道運営支援事業 鵜住居駅駐輪場等整備工事					
大槌町予算事業名	三陸鉄道運営支援事業 大槌駅駅舎整備事業					

II 地域内外の住民との交流・移住促進

【協定の内容】

①移住・定住の促進

取組の内容	移住・定住を促進するため、婚活等のイベントを共同して実施する。
釜石市の役割	婚活等のイベントを大槌町と共同して実施する。
大槌町の役割	婚活等のイベントを釜石市と共同して実施する。

【具体的な取組】

施策名	婚活支援事業					関係市町
内容	独身者の結婚活動の支援を共同で実施し、圏域内の若者の定着を図る。域外からの結婚願望者を呼び込み、域内への定着を図る。					釜石市 大槌町
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H34)		
	婚活イベント参加者数		43 人 (釜石) 21 人 (大槌)	300 人 ※H30～H34 累計		
期待される効果	結婚を希望する人を支援し、圏域の婚姻率を高めることにより、圏域の定住人口の維持が図られる。また、若者を対象としたイベントを定期的を開催することにより、“若者が集う活気ある街”というイメージを確立し、若者の域内定着や還流につながる。					
実施スケジュール		H 3 0 (2018)	H 3 1 (2019)	H 3 2 (2020)	H 3 3 (2021)	H 3 4 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み (千円)		300	300	300	300	300
大槌町事業費見込み (千円)		300	300	300	300	300
合計事業費見込み (千円)		600	600	600	600	600
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	圏域の若者等の定着促進に向け、両市町が協力して事業を実施し、必要な費用を負担する。					
釜石市予算事業名	若者定着事業					
大槌町予算事業名	出会い応援事業					

(3) 圏域マネジメント能力の強化

I 人材育成

【協定の内容】

①職員の人材育成

取組の内容	定住人口の促進を図るうえで圏域自治体が一体となって連携・協力することが必要で、釜石市と大槌町の職員が人材育成に関する施策を協力して実施することにより、より効果的な職員の人材育成を図る。
釜石市の役割	大槌町と協力して合同研修等を企画実施し、職員のレベルアップを図る。
大槌町の役割	釜石市と協力して合同研修等を企画実施し、職員のレベルアップを図る。

【具体的な取組】

施策名	合同職員研修の実施					関係市町
内容	釜石市と大槌町が合同で職員研修を実施する。					釜石市 大槌町
重要業績	指 標		現状値 (H29)	目標値 (H34)		
評価指標 (KPI)	合同研修実施回数累計		0回	20回		
期待される効果	スケールメリットを生かした効率的な研修が実施可能になるとともに、職員による人的連携の拡大が図られる。					
実施スケジュール		H 3 0 (2018)	H 3 1 (2019)	H 3 2 (2020)	H 3 3 (2021)	H 3 4 (2022)
	事業の実施					→
釜石市事業費見込み (千円)		710	710	710	710	710
大槌町事業費見込み (千円)		420	420	420	420	420
合計事業費見込み (千円)		1,130	1,130	1,130	1,130	1,130
国の支援策	なし					
役割分担の考え方	両市町が合同で職員研修を企画・実施し、それぞれ必要な費用を負担する。					
釜石市予算事業名	職員研修費					
大槌町予算事業名	合同職員研修実施事業					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

資料編

(1) 釜石・大槌定住自立圏共生ビジョンの策定経過

【平成 27 年度】

- 平成 27 年 4 月 20 日 釜石市・大槌町首長協議
- 12 月 1 日 釜石市・大槌町部課長協議

【平成 28 年度】

- 平成 28 年 4 月 12 日 釜石市・大槌町課長協議
- 11 月 30 日 釜石市・大槌町課長協議
- 平成 29 年 3 月 22 日 釜石市・大槌町部課長協議

【平成 29 年度】

- 平成 29 年 5 月 18 日 定住自立圏構想ヒアリング調査
- 6 月 14 日 釜石市・大槌町首長・議会議長会談
- 6 月 16 日 釜石市・大槌町部課長協議
- 6 月 30 日 大槌町議会議員全員協議会
- 7 月 28 日 釜石市議会市政調査会総会
- 8 月 7 日 第 1 回定住自立圏構想推進職員連絡会（首長出席・部課長級）
- 10 月 16 日 第 1 回釜石・大槌定住自立圏地域連携懇談会
- 11 月 22 日 第 2 回定住自立圏構想推進職員連絡会（係長級）
- 平成 30 年 1 月 11 日 総務省主催による定住自立圏構想推進セミナー in 岩手開催
- 2 月 13 日 釜石市議会議員全員協議会
- 2 月 14 日 第 3 回定住自立圏構想推進職員連絡会（首長出席・部課長級）
- 2 月 26 日 中心市宣言
- 3 月 8 日 定住自立圏形成協定の締結に関する大槌町議会の議決
- 3 月 9 日 定住自立圏形成協定の締結に関する釜石市議会の議決
- 3 月 20 日 定住自立圏形成協定の締結

【平成 30 年度】

- 4 月 16 日 第 1 回釜石・大槌定住自立圏共生ビジョン懇談会
- 5 月 25 日 釜石市議会議員全員協議会
- 7 月 9 日 大槌町議会議員全員協議会
- 7 月 12 日 釜石・大槌定住自立圏共生ビジョン策定

(2) 釜石・大槌定住自立圏地域連携懇談会設置要綱

(設置)

第1条 定住自立圏構想推進要綱(平成20年12月26日総行応第39号)第5に規定する定住自立圏形成協定の締結に向けて、地域の関係者との意見交換を実施するため、釜石・大槌定住自立圏地域連携懇談会(以下「懇談会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 懇談会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 釜石・大槌定住自立圏構想の推進に関する事項
- (2) その他必要な事項

(組織)

第3条 懇談会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 釜石・大槌定住自立圏構想で想定される連携事項に知識経験を有する者
- (2) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、1年を超えない範囲で市長が定める期間とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 懇談会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会は、必要に応じて市長が招集する。

(庶務)

第7条 懇談会の庶務は、総務企画部総合政策課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

- 1 この告示は、平成29年8月29日から施行する。
- 2 この告示は、平成30年3月31日限り、その効力を失う。

(3) 釜石・大槌定住自立圏地域連携懇談会委員名簿

(※敬称略、五十音順)

	氏名	所属	備考
1	小笠原 悦子	大槌町バレーボール協会会長	
2	小野寺 愛	釜石市PTA連合会母親委員	
3	菊池 良一	大槌商工会会長	
4	小泉 嘉明	釜石市総合振興審議会会長	会長
5	高木 聖子	大槌学園学校運営協議会委員	
6	千代川 茂	大槌町観光物産協会会長	
7	徳田 信也	社会福祉法人大槌町社会福祉協議会会長	副会長
8	蓮見 純子	釜石市スポーツ推進委員協議会理事	
9	丸木 久忠	社会福祉法人釜石市社会福祉協議会会長	
10	山崎 長也	釜石商工会議所会頭	

(4) 釜石・大槌定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(設置)

第1条 定住自立圏構想推進要綱(平成20年12月26日総行応第39号総務次官通知)第6に規定する定住自立圏共生ビジョン(以下「ビジョン」という。)の策定又は変更に当たり、民間や地域の関係者の意見を広く反映させるため、釜石・大槌定住自立圏共生ビジョン懇談会(以下「懇談会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 懇談会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) ビジョンの策定又は変更に関する事項
- (2) その他必要な事項

(組織)

第3条 懇談会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 釜石・大槌定住自立圏形成協定に掲げる取組の内容に関連する分野の関係者
- (2) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 懇談会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会は、必要に応じて市長が招集する。

(庶務)

第7条 懇談会の庶務は、総務企画部総合政策課において処理する。

(委員)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に必要な事項は、市長が別に定める。

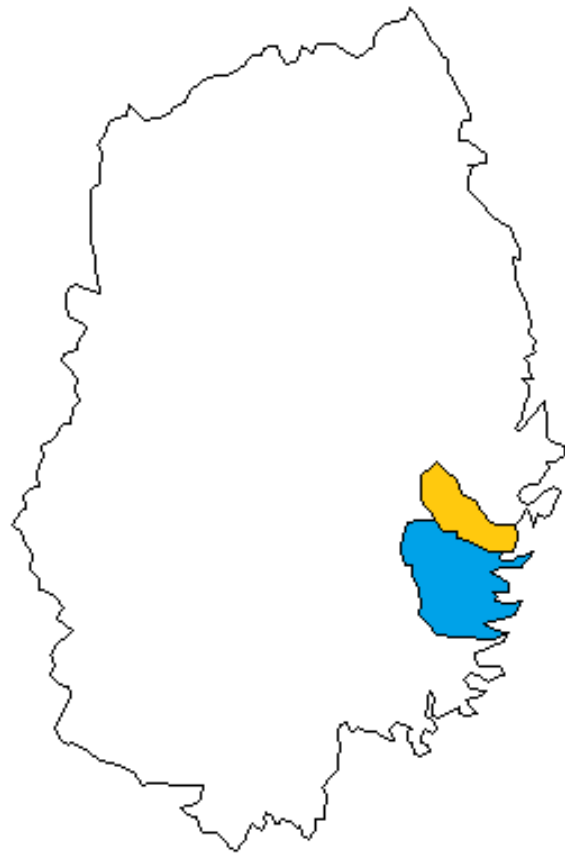
附 則

この告示は、平成30年3月20日から施行する。

(5) 釜石・大槌定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

(※敬称略、五十音順)

	氏名	所属	備考
1	小笠原 悦子	大槌町バレーボール協会会長	
2	小野寺 愛	釜石市PTA連合会母親委員	
3	菊池 良一	大槌商工会会長	
4	小泉 嘉明	釜石市総合振興審議会会長	会長
5	高木 聖子	大槌学園学校運営協議会委員	
6	千代川 茂	一般社団法人大槌町観光交流協会代表理事	
7	徳田 信也	社会福祉法人大槌町社会福祉協議会会長	副会長
8	蓮見 純子	釜石市スポーツ推進委員協議会理事	
9	丸木 久忠	社会福祉法人釜石市社会福祉協議会会長	
10	山崎 長也	釜石商工会議所会頭	



大槌町
釜石市

釜石・大槌定住自立圏共生ビジョン
平成30年7月12日策定

釜石市総務企画部総合政策課